

田んぼが消えると



お米を食べることは
田んぼや生きものを
守ることなんだ！



生きものが消える（絶滅）

例えば・・・

ごはんの中に黒い粒（斑点米）が1粒でもまじっていたら・・・

ごはんに変な黒い粒が混じっていた。不潔だな。

おかしな農薬を使っているかもしれない。心配だ。

私たちの健康のために
有機農産物をもっと安く
たくさん作るべきだ

農薬を使った農産物は
食べたくない。

農家は薬に頼らないで
環境に配慮すべきだ。

食べる人が知らない現実

食べ物の見た目を美しくするため、省力化のため農薬が使われる



■ 「農」「食」「環境」の教育



～保育園の巡回～

親子給食に合わせて、島内24の保育園を対象に栄養士といっしょに巡回。

子どもたちからお米を炊いてもらったり、お米が炊ける合間にお米の観察と有機栽培農家から取組を紹介してもらいました。

田んぼの稲が朮になり、お米に。そしておいしいごはんに。お米はまた「種」であり、命であることを感じてほしい。

無農薬栽培に取り組んでいる農家にも参加いただき、有機農業を身近に感じてもらいました。

保護者も子どもたちも驚きと感動。熱心に話を聞いていました。

■ 「農」「食」「環境」の教育（令和4年）

- ▶ 島内全24保育園 参加園児205名、保護者189名
参加農家 14名（延べ）
- ▶ 小学校 地産地消に関する授業 5校／22校（佐渡市立）
100%佐渡産給食を作ろう！ 1校（令和5年2月）
- ▶ 中学校 課題解決型職場体験 3校／13校（佐渡市立）
- ▶ 高校 佐渡市の農業について 1校／5校（通信含む）
米で佐渡の未来を切り拓く（里山未来ユースワークショップ）
- ▶ 島外小学校（世田谷区） 世界農業遺産・トキ認証米・生きもの調査紹介
- ▶ 教職員 小・中学校理科主任研修会
小学校教育研究社会科部
栄養教職員部会教員
- ▶ 新潟県学校給食会 地産地消意見交換 ⇒ 佐渡産食材の活用検討へ

■農と食をどこまでつなげられるか

島内の旅館やホテルでも使ってみたい

お土産にしたい

佐渡米を買いたい
契約したい

有機の給食を
食べたいなあ！

子どもたちに
有機のお米や野菜を
食べてほしいなあ！

自然が豊かで、素晴らしい島ですね。一度行ってみたいなあ！

島を上げて有機農業をやっているなんて素晴らしい！私もそこで農業をやりたい！

素晴らしい教育環境ですね。
家族で移住して子育てをしたい！

▲1,000名（人口減少/年）
+503名 U・Iターン（R3）

農と食をむすび、ともに歩む関係に

We declared Nature Positive on 23, Oct. 2022



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



ネイチャーポジティブ佐渡島宣言

今、世界では、カーボンニュートラルに続く国際的な問題として、生物多様性の保全が取り上げられ、「2030年までに生物多様性の減少傾向を食い止め、回復に向かわせる」という地球規模の目標(ネイチャーポジティブ)へのコミットが表明されています。

1981年に野生絶滅したトキを2008年に野生復帰させ、現在569羽にするなど、生物多様性の保全に取り組む佐渡市では、このネイチャーポジティブの実現に向けて、ゼロカーボンアイランドの推進とともに、自然への投資や循環型経済が促進されるよう、次の活動を行います。

- 1 佐渡市では、保護地域および保護地域以外の場所で生物多様性保全に貢献する場所(OECM)が既に30%を超えているが、今後、さらに拡充させること
- 2 他地域の生物多様性を減少させる資源の移入・使用について、現状を把握し、削減に努めるとともに、自然環境や生物多様性の保全を発展的に展開することで、新たな産業創出等につなげること
- 3 トキとの共生を実現した地域として、ネイチャーポジティブに向けた知見・経験を他地域と共有しながら、生物多様性保全のパートナーシップを拡大すること

以上、ここに「ネイチャーポジティブ」を宣言し、地域循環共生圏の創出と安心して暮らし続けられる島づくりを目指して実践することを誓います。

令和4年10月23日

佐渡市長

渡辺 竜五

1. Sado City **already has more than 30% protected area on land**, and we continue our effort **to expand the area**.

2. We will identify and reduce the use of resources that harm biodiversity in other regions, and then create new industries related to biodiversity conservation.

3. As we succeeded to achieve harmony with the Crested Ibis, we will **expand our partnerships for biodiversity conservation** by sharing our knowledge and experience **towards nature positive**.



トキ野生復帰と認証制度、ネイチャーポジティブ佐渡島宣言を中心にプレゼンを実施。登壇者、聴衆ともに、トキ野生復帰と生物多様性の回復が、地域経済にプラスの影響を与えている(朱鷺認証米の付加価値販売)ことに関心が高かった。(COP15：モントリオール)

生きもの目線で歩いてきた
佐渡だからこそ挑戦したい

SDGsの島、**Sadogashima**へ



地産地消100%佐渡産給食を作ろう！

